



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

法枠を
つくりました

地元の声

- ・大雨の時にがけが崩れそうで怖い（地元住民）
- ・工事が完成したら安心できる（地元住民）

事業前

◆斜面が急なため、大雨などの時にがけ崩れが発生するおそれがありました。



事業前の状況

事業後

◆法枠の整備により、斜面の風化を防ぎ、がけ崩れによる被害のリスクを軽減しました。



事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：前橋市日輪寺町
- 事業内容：法枠工
- 事業期間：平成28年度～令和4年度

※法枠（のりわく）とは、コンクリートなどで格子状の枠を設けて、斜面の風化、浸食、崩落などを防止するものです。



事業の進捗状況（令和4年度完了）

今、何をしているか

令和4年度に事業完了しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了